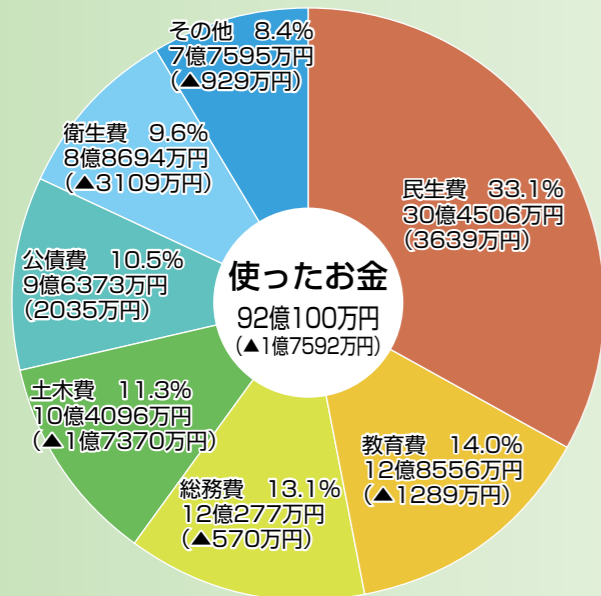


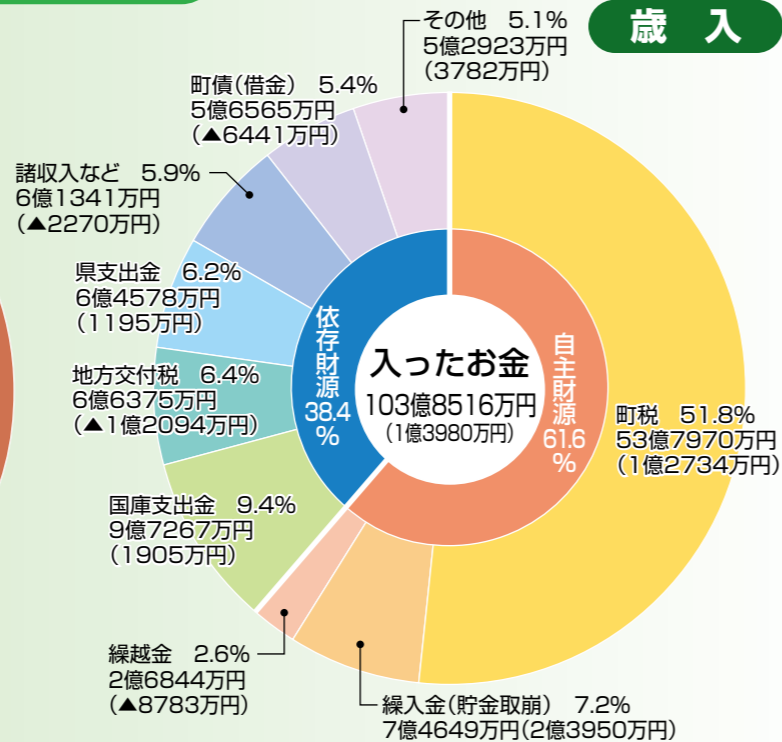
私たちの税金の使いみちは？

一般会計

歳出



歳入



※ () 内は前年度対比増減 ▲はマイナス
千円以下は切り捨てしているため、合計が合わない場合があります。

※自主財源：町が自主的に収入できる財源
依存財源：国や県により定められた額を交付や割り当てられる財源

平成25年度 決算総額172億2473万円を認定

決算審議の流れ

- 9月2日 本会議で審議開始 → 提案説明・質疑 決算特別委員会を設置
- 9月12日 決算特別委員会で審査開始 → グループ別補足説明・質疑
- 9月17日 決算特別委員会で審査 → 討論・採決
- 9月19日 本会議で審議 → 委員長報告を受けて 質疑 → 討論・採決

平成25年度決算については決算特別委員会を設置して、9月12・13・17日の3日間で各会計の歳入歳出決算事項別明細書などに基づき審査を行い、全ての会計決算を認定しました。

各会計歳入歳出決算額

会計等区分		歳入総額	歳出総額
一般会計		103億8516万円	92億100万円
特別会計	国民健康保険事業	42億4083万円	39億6234万円
	財産区	10億9367万円	2425万円
	下水道事業	10億445万円	10億215万円
	介護保険事業	18億8910万円	18億5588万円
	後期高齢者医療事業	3億1818万円	3億874万円
一般・特別会計の計		189億3141万円	163億5439万円
水道事業会計	収益的収支(税込み)	5億7941万円	5億9327万円
	資本的収支(税込み)	6774万円	2億7706万円
合計		195億7857万円	172億2473万円

収益的収支：経営活動(水道料金)の収益とこれに対する費用
資本的収支：将来の経営の安定を図るための設備投資などの費用

一般会計とは
一般会計は、行政の基本的な経費(福祉・教育・土木など)に要する経費を町税などを主な財源として経理する会計です。

特別会計とは
事業目的を限定し、特定の歳入歳出で経理する会計です。

財政力指数とは(県平均0.498)
町などの地方公共団体の財政力の強弱を示し、1に近いほど財源に余裕があるとされています。

経常収支比率とは(県平均86.6%)
人件費や公債費など経常的な支出に対して、町税などの経常的収入がどの程度充当されているのかを示すもので、比率が高いほど財政構造の硬直化が進んでいます。

平成25年度の一般会計と特別会計をあわせた決算額は、歳入が189億3141万円、歳出が163億5439万円です。この決算額を前年度と比較すると、歳入で4億1395万円(2.2%)、歳出で3489万円(0.2%)とそれぞれ増加し、決算規模は歳入、歳出とも前年度を上回る結果となっています。

また、決算審査意見書では、財政力指数(過去3年平均)は、平成25年度は0.863となっており、財政の余力が増しています。他方、経常収支比率は、89.5%となっています。債権管理の強化については、効果的かつ効果的な債権管理にと指摘を受けています。